

第21戦目総括

2015-04-14 19:27:05NEW !



今回、フェザー級という事で57.1キロまで体重を落とすのは約2年半ぶりだったのですが、コンディションにおいては何一つ不安要素なく試合のゴングを迎えられました。フィジカルトレーナーが多くの知識を説いてくださり、それを信じて実践した成果です。自分自身のメンタルの起伏も感じなかったのが本当に感謝です。今回でコンディション調整においてものすごく自信が付きました。

試合内容は1round開始から相手の得意パンチである左フックに対しての危機感を持ちすぎました。立ち上がりにも思ったよりも自分がそれに反応できたため攻め気がそれにて相殺されて、相手の長所に対して予想より早めに対処できたディフェンス面の満足感で1roundを終えてしまったということ。自分は良くてもレフェリーの第三者目線から見ればポイントは当然相手に流れます。なので前戦にて克服したはずのスロースターターが結果として現れてしまった感じ。ペース

配分というのはメンタルの状況がダイレクトに反映されると思います。その点はやはり現役生活の中での永遠のテーマですね。

2roundからはその相手の得意パンチを念頭に置きながらプレッシャーをかけていき、気を休ませないことをいつも通り実行しました。加藤トレーナーと二人で話し合っって予想した展開にここからハマります。後は練習でやったパターンを反復するだけでした。

振り返ると単純なことを当たり前にやっているだけだと実感します。その後右アッパーに手応えがあったと僕は感じていますが、6roundにヒッティングによるTKO勝ちとなりました。終了時点でジャッジが1,2,3ポイント差の3対0で自分を支持してもらえていたので、要所要所の部分でしっかりとポイントを取れていたのだと安心しました。

今回の試合は外傷、疲れもなくノーダメージでしたのですぐに練習を開始したいと思います。やはり書きたい内容はまだまだ山程ありますが、長くてうざいので短く！

応援ありがとうございました！

今回も超満員の会場の中で試合できることに本当に幸福を感じました。これからも上を見て努力します。